

各支部長：所管長：学校長 殿

青森県剣道連盟

会長 増田 知幸

(公印略)

剣道段位青森審査会開催の通知

下記により、当連盟主催の令和元年度剣道段位青森審査会を開催いたしますので、貴支部、中・高等学校、一般剣士に広くご伝達下され、受審希望者をお取りまとめのうえ、お申し込み下さるようご通知のほどお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和元年8月11日(日)

ア. 初段・二段

受付時間 午前8時30分～9時まで

学科試験 午前9時10分～9時30分まで

開 始 式 午前9時40分～

実技審査 午前9時50分～

イ. 三段・四段・五段

受付時間 午前12時～12時30分まで

学科試験 午後12時30分～12時50分まで

開 始 式 午後1時～

実技審査 午後1時10分～

2. 会 場 **マエダアリーナ(メイン) 青森市宮田字高瀬22-2 Tel 017-737-0601**

3. 対 象 初段～五段

※受審資格は審査日当日の年齢及び修業年限等の条件を満たしていること。

※初段は審査当日に満13歳に達した者。

※20歳以上で1年以内に県内の講習会を受講していること。

(未受講者は、9月1日(日)七戸講習会を受講することを条件に認めるが、必ず県剣連事務局長へその旨連絡のこと。)

4. 内 容 別紙参照

5. 申込み 令和元年8月3日(土)必着。中学・高校は直接申込む。大学、一般は必ず支部長経由で申込むこと。(支部長印の無いものは受け付けられません。)その際に、現級段位取得年月日・受領地の明確でないものは各支部で申込みを受理しないで下さい。又、県外での取得者はコピーを申込みと同時に各支部に提出してください。いかなる理由であってもコピーの無いものは、県連では受理しません。期日の遅れたものや電話・FAXでの申込みは受付しません。

※ 初段受審者は県連発行の1級免状のコピーを提出してください。

※ 剣道形または、学科のみの申込み者は前回受審地・日付を明記してください

※ 申込み先

〒038-0852 青森市大野金沢12-5 足澤一成 宛

Te1090-9030-52871

※ 受験料は下記に振り込んでください

振入銀行口座 青森銀行問屋町支店 普通 321675

青森市剣道連盟 竹内通源(タケウチ ユキモト)

支部の事務責任者の方は、振込みの際、支部名を明記してください。

- 6 備考
- ① 受審料は申込み期日までに必ず入金してください。(現金での受付はいたしません)
 - ② 生徒、学生は必ず学年を記入してください。
 - ③ 支部から直接申込む中高生は学校名を忘れないで備考欄に記入すること。
 - ④ 申込責任者は備考欄に③のほか、受審者が身体障害や発達障害等で受審に配慮が必要な場合は、その旨ご記入ください。
 - ⑤ 剣道用具の確認(別添の平成31年4月1日施行の「剣道試合・審判規則改正新旧対照表」を参照のこと。その他、学校名等がわかるような刺繍の剣道着等を着用しない。面ひもは適正な長さとする。)
 - ⑥ 各段の受審者(男女別)が3名に満たない場合は、当該段の審査を実施しません。(申込み後、事務局から責任者又は受審者本人に連絡します。)

受審番号		決	合・否
------	--	---	-----

令和 年 月 日

剣道段位審査申込書

青森県剣道連盟

受審種目 段位	剣道	段	フリガナ 氏名	生年月日 (満年齢)	大正 昭和 平成	年	月	日	性別 男女
------------	----	---	------------	---------------	----------------	---	---	---	----------

現住所	〒	電話番号	旧氏名
-----	---	------	-----

最終学歴 (在学学生は在学学校名)	学校名	卒業 第 学年在学中	職業 (勤務先)	()
----------------------	-----	---------------	-------------	-----

職業別 番号欄	中学生	高・大・専門校	警察官	自衛官	教員	公務員	会社員	自営業	農林水産業	主婦	その他	無職
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12

現級段位	段 級	取得年月日	昭和 平成 令和	年	月	日	取得場所	青森市・八戸市・弘前市・県外 ()
------	--------	-------	----------------	---	---	---	------	--------------------

費用	段位	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	再 受 審			
	受審料	7,000円	8,000円	9,000円	10,000円	11,000円	形又は学科	初段～三段 2,000円	四段～五段 2,000円	
	合格登録料 (70歳以上)	9,000円 (4,500円)	10,000円 (6,500円)	13,000円 (8,500円)	28,000円 (14,500円)	33,000円 (16,500円)	/			
	推薦料	47,000円	57,000円	70,000円	85,000円	90,000円				

備 考	<p>1 証書に記載するため氏名については正確に楷書で、フリガナはカタカナで記入し、姓名が 変わった方は旧姓名を必ず記入すること。</p> <p>2 青森県以外で現級段位を取得した者は免許状の写し(電子コピー・複写コピー)を提出すること。</p> <p>3 現級段位の合格年月日は、免許状の年月日通りに正しく記入すること。</p> <p>4 初段の受審者は県剣道連盟会長名による一級合格者であり、その写しを提出すること。</p> <p>5 生年元号・性別・職業別番号欄及び級段位取得場所は○で囲むこと。</p>	免許状送付先 支 部 名
		支部

令和元年 8月剣道段位青森審査会 申込書

支部名 _____ 支部長名 _____ 印 _____
 学校名 _____ 責任者氏名 _____ 印 _____
 自宅電話 _____ 勤務先電話 _____

※初段受審者は一級取得年月日を記入すること。(免状のコピーを送付すること)
 ※現級段位取得年月日は、必ず証書の年月日を記入すること。
 ※生徒、専門学校生、学生は学年を記入すること。

番号	受審 段位	フリガナ 氏名	性別	生年月日	学 年	年 齢	現級段位 取得年月日	現級段位 受領場所	形・学科 再受審	前 回 受審地	前 回 受審日	全 剣 連 登録番号	本年の受講歴 20歳以上の者対象	備考
1									形・学科				○印願います 4月・5月	
2									形・学科				4月・5月	
3									形・学科				4月・5月	
4									形・学科				4月・5月	
5									形・学科				4月・5月	
6									形・学科				4月・5月	
7									形・学科				4月・5月	
8									形・学科				4月・5月	
9									形・学科				4月・5月	
10									形・学科				4月・5月	

* 受審料 初段7,000円 二段8,000円 三段9,000円 四段10,000円 五段11,000円 再受審(剣道形または学科のみ)2,000円

* 受審料を添えてお申込み下さい。なお、取り消し、棄権の場合も受審料はお返ししません。

* 合格登録料(当日納入) 初段 9,000円 二段 10,000円 三段 13,000円 四段 28,000円 五段 33,000円

令和元年度 学 科 試 験 問 題

【必須問題】

段位	問 題 内 容	
初段	「剣道の理念」及び「剣道修錬の心構え」 ※剣道指導要領、剣道講習会資料参照	「稽古の意義」 ※剣道指導要領参照
二段		「礼の考え方」 ※剣道指導要領参照
三段		
四段		「剣道指導の心構え」 ※剣道指導要領参照
五段		

【選択問題】

段位	問 題 内 容	
初段	①掛け声（発声）の目的 ※剣道指導要領参照 ③有効打突について ※剣道指導要領、剣道講習会資料参照	②構えと目付 ※剣道指導要領参照 ④打突の好機 ※剣道指導要領参照
二段	①攻め合い ※剣道指導要領参照	②試合の目的 ※剣道指導要領参照
三段	③虚実 ※剣道指導要領参照	④四戒（驚・懼・疑・惑） ※剣道指導要領参照
四段	①指導のねらい ※剣道指導要領参照	②審判員の心得 ※剣道試合・審判・運営要領の手引き参照
五段	③平常心 ※剣道指導要領参照	④師弟同行 ※剣道指導要領参照

* 選択問題は、各段とも上記問題から当日2問出題する。

* 学科問題は『剣道指導要領』・『剣道講習会資料』・『剣道試合・審判規則・細則、運営要領』・『日本剣道形解説書』等から出題する。

令和元年度 実科試験内容及び実施要領

《剣道実技》

段位	人数編成	実科試験内容
初段	3組6人編成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 切り返し 2往復実施 (体当たりをする切り返し)
二段		
三段	2組4人編成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稽古 相手を替えて2回実施
四段	1組4人編成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稽古 相手を替えて2回実施 稽古は〔A-B → C-B → C-D → A-D〕 又は〔A-B → C-B → C-A〕の順序
五段	(又は3人編成)	

《日本剣道形》 実技合格者に対し実施する。

段位	人数編成	実科試験内容
初段	3組6人編成	太刀の形3本(1本目、2本目、3本目)
二段		太刀の形5本(1本目、2本目、3本目、4本目、5本目)
三段	2組4人編成	太刀の形7本
四段		太刀の形7本と小太刀の形3本 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕太刀のみ太刀と小太刀を携行する。
五段		<ul style="list-style-type: none"> ・ 打太刀、仕太刀は交代しないことにする。

段位審査会（実技審査）における立会担当者の心得と手順

青森県剣道連盟

- * 立会担当者は、段位審査会を安全・公平・順調に進行させる重要な任務です。
- * 受審者に対し、分かりやすく・親切・丁寧な対応をして下さい。
- * 服装は審判員の服装とします。

立会者要領	受審者要領
<p>〈受審者の整列〉</p> <p>○控え席への整列</p> <ul style="list-style-type: none">・審査実施組ごとに、番号順に整列させる。 <p>※学科審査終了後、直ちに整列させる。</p> <p>〈審査上の注意事項の説明〉</p> <p>○諸注意</p> <ul style="list-style-type: none">・入退場・交替の仕方・実技の行い方 <p>※開会式前に注意事項の説明を終える。</p> <p>〈受審者の入場誘導〉</p> <p>○入場</p> <ul style="list-style-type: none">・立礼の位置に入場させる。 <p>〈実技審査の開始時〉</p> <p>○審査開始の号令</p> <p>「只今から、〇段（男子・女子）の実技審査を開始します」</p> <p>○正面への礼</p> <p>「正面に、礼」</p> <p>※午前・午後の最初の組の審査が開始される時に行うこととし、それ以外の組の審査開始時には省略する。</p>	<p>・胴と垂を身に着け、面、小手、竹刀を持って指示に従い整列する。</p> <p>・注意事項を確認する。</p> <p>・指示に従い入場する。</p> <p>・号令に従い、正面に礼をする。</p>
<p>〈初段から三段の実技審査〉</p> <p>○受審番号の確認</p> <p>「相互に、礼」</p> <p>※礼の後、前に進み出ない受審者には、前に出て刀を抜き合わせながら蹲踞し、立ち上がって構え合うように促す。</p> <p>○切り返し</p> <p>（手のひらを内側にして右手を上げ）</p> <p>「こちら側から切り返し、始め」</p> <p>※元の位置の戻らない受審者に対して、元の位置に戻るよう促す。</p> <p>（手のひらを内側にして左手を上げ）</p> <p>「交替して切り返し、始め」</p> <p>※元の位置の戻らない受審者に対して、元の位置に戻るよう促す。</p>	<p>・相互に礼をし、帯刀となって前進し、刀を抜き合わせながら蹲踞し、立ち上がって構え合う。</p> <p>・審査員に向かって右側の受審者は切り返しを行い、最後の正面を打ち終えたら元の位置に戻る。</p> <p>・審査員に向かって左側の受審者は切り返しを行い、最後の正面を打ち終えたら元の位置に戻る。</p>

立会者要領

受審者要領

○稽古

(直立のまま)

「稽古、始め」

※事前にストップウォッチをセットしておく
 ※危険性や不公平な状態が確認された際には、その組に近寄って「止め」をかけ、元の位置に戻す。

(時間となったら手のひらを正面に向けて右手を高く上げて)

「止め」

※途中で転倒や竹刀操作不能等で大幅な中断時間があった場合は、立会者の裁量でそれに見合った時間を延長する。

(手のひらを左に向けて右手を前に出して)

「相手を交替して」

※交替の仕方が分からない受審者には、わかりやすく指示する。

※移動後に構え合わない受審者には、構え合うよう促す。

(直立のまま)

「始め」

※事前にストップウォッチをリセットしておく
 (時間となったら手のひらを正面に向けて右手を高く上げて)

「止め」

(手のひらを下に向けて右手を前に出して)

「それまで」

※蹲踞し納刀後、立礼の位置まで下がったら、

「相互に、礼」

※審査主任の指示の有無を確認後、

「退場」

*** 次(最後)の組が奇数となった場合**

- ・審査主任の指示により、前組から1名残す。
- ・「切り返し」の審査では、残した者は基立ちのみとする。

〈実技審査の終了時〉

○審査終了の号令

「以上で、○段(男子・女子)の実技審査を終了します」

○正面への礼、退場

「正面に、礼」

※午前・午後の最後の組の審査が終了した時に行うこととし、それ以外の組の審査終了時には省略する。

「退場」

※午前・午後の最後の組は、正面への礼の後に退場させる。

・ 五角稽古を行う。

・ 元の位置に戻る。

・ 立ったままで納刀し、立礼の位置まで下がって相互に礼をする。
 ・ 番号の早い受審者が移動し、それ以降の受審者が繰り上がる。

・ 五角稽古を行う。

・ 元の位置に戻る。

・ 蹲踞して納刀し、立礼の位置まで下がる。

・ 相互に礼をする。

・ 指示に従い退場する。

・ 残るように指示を受けた受審者は、次の組の最後にまわる。

・ 号令に従い、正面に礼をする。

・ 指示に従い退場する。

〈四段、五段の実技審査〉

○相互の礼

「相互に、礼」

※各段の最初の立会時のみ号令をかけ、その後は省略する。(終わりの礼と、次の始めの礼を一緒に行わせる。)

○稽古

(直立のまま)

「始め」

※事前にストップウォッチをセットしておく

※危険性や不公平な状態が確認された際には、その組に近寄って「止め」をかけ、元の位置戻す。

(時間となったら手のひらを正面に向けて右手を高く上げて)

「止め」

※途中で転倒や竹刀操作不能等で大幅な中断時間があった場合は、立会者の裁量でそれに見合った時間を延長する。

(手のひらを下に向けて右手を前に出して)

「それまで」

※交替の仕方が分からない受審者には、わかりやすく指示する。

※退場した受審者は、控え席で待機させる。

* 二刀を使う受審者がいた場合

・二刀を使う人と対戦する受審者には、その2人で対戦させ(3人と対戦することになる)、均等な機会を2回与え、公平な審査を図る。

(審査主任に報告、承認を得る。)

〈例〉A・⑧・C・Dで、⑧が二刀の受審者の場合、A-⑧、⑧-C、C-D、D-Aと対戦した後、A-Cの対戦をさせる。

〈実技審査の終了時〉

○審査終了の号令

「以上で、〇段の実技審査を終了します」

○正面への礼、退場

「正面に、礼」

※午前・午後の最後の組の審査が終了した時に行うこととし、それ以外の組の審査終了時には省略する。

「退場」

※午前・午後の最後の組は、正面への礼の後に退場させる。

- ・相互に礼をし、帯刀となって前進し、刀を抜き合わせながら蹲踞して構え合う。
- ・二人目以降は、前の人最後の礼に合わせて自身の始めの礼を行う。

- ・五角稽古を行う。

- ・元の位置に戻る。

- ・蹲踞して納刀し、立礼の位置まで下がって相互に礼をする。
- ・続けて行う受審者は、終わりの礼と次の礼を合わせて行う。
- ・稽古を終えた受審者は、相互の礼の後退場し、控え席で待機する。
- ・次の受審者は、稽古を終えた前の受審者の上座に位置し、並んで礼をする。

《4人一組》	《3人一組》	《⑧が二刀》
B - A	B - A	⑧ - A
B - C	B - C	⑧ - C
D - C	A - C	D - C
D - A		D - A
		C - A

その組の最後に対戦する ↑

- ・号令に従い、正面に礼をする。

- ・指示に従い退場する。

段位審査会（日本剣道形審査）における立会担当者の心得と手順

青森県剣道連盟

- * 立会担当者は、段位審査会を安全・公平・順調に進行させる重要な任務です。
- * 受審者に対し、分かりやすく・親切・丁寧な対応をして下さい。
- * 服装は審判員の服装とします。

立会者要領	受審者要領
<p>〈受審者の整列〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 控え席への整列<ul style="list-style-type: none">・ 審査実施組ごとに、番号順に整列させる。	<ul style="list-style-type: none">・ 垂を身に着け、木刀を持ち、指示に従い整列する。
<p>〈審査上の注意事項の説明〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 諸注意<ul style="list-style-type: none">・ 打太刀、仕太刀の指定・ 入退場・交替の仕方・ 号令のかけ方	
<p>〈受審者の入場誘導〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 入場<ul style="list-style-type: none">・ 立礼の位置に入場させる。※ 初段の受審者で、木刀を持つ手や、刃の向きが逆な場合は、注意をして直させる。	<ul style="list-style-type: none">・ 指示に従い入場する。※ 四・五段の審査で仕太刀となった受審者は、太刀と小太刀を合わせて携行し、小太刀を置く位置にまっすぐ入場し、小太刀を置いた後、立礼の位置に進む。
<p>〈日本剣道形審査の開始時〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 審査開始の号令<p>「只今から、○段（男子・女子）の日本剣道形審査を開始します」</p>○ 打太刀・仕太刀の明示<p>（手のひらを内側にして右手を上げ）</p><p>「打太刀」</p><p>（手のひらを内側にして左手を上げ）</p><p>「仕太刀」</p><p>※ 全ての組において明示する。</p>○ 正面への礼<p>「正面に、礼」</p><p>※ 全ての組において行う。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 号令に従い、正面に礼をする。

〈初段から三段の日本剣道形審査〉

○始めの礼法・所作

「相互に、礼」

※礼の後、前に進み出ない受審者には、前に出て刀を抜き合わせながら蹲踞し、立ち上がって構え合うように促す。

○日本剣道形審査

(直立のまま)

「一本目」

※以降、頃合いを見て「二本目」「三本目」…と号令で指示を出す。

※中心線から大きく外れた組に対しては、中心の位置を保つよう促す。

※最後の形を終えても蹲踞して納刀しようとする受審者に対して、納刀するよう促す。

※蹲踞し納刀後、立礼の位置まで下がったら、

「相互に、礼」

「正面に、礼」

※審査主任の指示の有無を確認後、

「退場」

〈日本剣道形審査の終了時〉

○審査終了の号令

「以上で、○段（男子・女子）の日本剣道形審査を終了します」

- ・相互に礼をする。
- ・木刀を持ち替えて帯刀となり、3歩前進して木刀を抜き合わせながら蹲踞し、立ち上がって構え合う。
- ・構えを解いて5歩下がり、立礼の位置で構え合う。

- ・号令に従い、順に形を打つ。
- ・最後の形を終えたら蹲踞して納刀し、立礼の位置まで下がる。
 - ※初段は、一本目から三本目まで。
 - ※二段は、一本目から五本目まで。
 - ※三段は、太刀の形七本全て。

- ・木刀を持ち替えて、相互に礼をする。
- ・号令に従い、正面に礼をする。
- ・指示に従い退場する。

〈四段、五段の日本剣道形審査〉

○太刀の形の始めの礼法・所作

「太刀の形、七本、始め」

※礼法・所作に関する号令はかけない。

※合図を待って始めようとしなない受審者には、始めるよう促す。

○日本剣道形審査（太刀の形）

※本数を示す号令はかけない。

○太刀、小太刀の持ち替え

※持ち替えようとしなない仕太刀の受審者には、持ち替えるよう促す。

※立ったままで待とうとしている打ち太刀の受審者には、蹲踞して待つよう促す。

○小太刀の形の始めの礼法・所作

※全ての組の仕太刀が木刀を持ち替えて、立礼の位置まで戻ったら、

「小太刀の形、三本、始め」

※礼法・所作に関する号令はかけない。

※合図を待って始めようとしなない受審者には、始めるよう促す。

○日本剣道形審査（小太刀の形）

※本数を示す号令はかけない。

※全ての組が相互の礼を終えたら、

「正面に、礼」

「仕太刀は、太刀を持ってください」

※審査主任の指示の有無を確認後、

「退場」

〈日本剣道形審査の終了時〉

○審査終了の号令

「以上で、○段の日本剣道形審査を終了します」

- ・相互に礼をする。
- ・相手と呼吸を合わせて、始めの礼法・所作を行う。

- ・相手と呼吸を合わせて、太刀の形七本を打つ。
- ・太刀の形七本目を終えたら、蹲踞して納刀し、立礼の位置まで下がって相互に礼をする。

- ・仕太刀は後退し、木刀を持ち替える。
- ・打太刀は蹲踞して待つ。

- ・打太刀は立ち上がって提刀姿勢となる。

- ・相互に礼をする。
- ・相手と呼吸を合わせて、始めの礼法・所作を行う。

- ・号令に従い、小太刀の形三本を打つ。
- ・小太刀の形三本目を終えたら、蹲踞して納刀し、立礼の位置まで下がって相互に礼をする。

- ・号令に従い、正面に礼をする。
- ・仕太刀は、指示に従い後退して太刀を小太刀とともに持つ。
- ・打太刀はその場で立ったまま待つ。

- ・指示に従い退場する。